

# S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

《月報》  
平成 21年 9月  
(第36 ~ 39週)

発行年月日：平成21年(2009年) 10月19日  
発行：滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター  
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といえます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 21年				平成 20年 <sup>1)</sup>				感染症 類型	疾 病 名	平成 21年				平成 20年 <sup>1)</sup>			
		1-8月		9月		1-12月		1-12月				1-8月		9月		1-12月		1-12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	49	0	13	0	132		
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	0	3		
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0		
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0		
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0		鼻疽	0	0	0	0	0	0		
二類	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	ブルセラ症	0	1	0	0	0	4			
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	2	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0			
	結核	189	17,583	11	1,799	282	28,419	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0			
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	0	0			
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	2			
	鳥インフルエンザ(H5N1) <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	マラリア	0	43	0	4	1	56			
三類	コレラ	0	7	0	1	0	45	野兔病	0	0	0	0	0	5					
	細菌性赤痢	0	115	0	12	23	320	ライム病	0	5	0	0	0	5					
	腸管出血性大腸菌感染症	15	2,269	6	646	53	4,322	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
	腸チフス	0	20	0	3	0	57	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0					
	パラチフス	0	15	0	1	0	27	類鼻疽	0	0	0	0	0	0					
四類	E型肝炎	1	33	0	5	0	43	レジオネラ症	4	462	2	39	10	893					
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	6	0	6	0	42					
	A型肝炎	0	87	0	9	3	170	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0					
	エキノコックス症	0	15	0	2	0	22	五類	アメーバ赤痢	9	533	0	53	10	872				
	黄熱	0	0	0	0	0	0	ウイルス性肝炎	1	151	0	16	5	241					
	オウム病	0	15	0	0	0	9	急性脳炎	1	156	2	31	1	190					
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	クリプトスポリジウム症	0	12	0	0	0	10					
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	86	0	7	2	152					
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	80	0	7	1	113					
	Q熱	0	2	0	0	0	3	後天性免疫不全症候群	7	989	0	87	11	1,568					
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	ジアルジア症	0	53	0	3	1	76					
	コクシジオイデス症	0	2	0	0	1	2	髄膜炎菌性髄膜炎	0	9	0	0	0	10					
	サル痘	0	0	0	0	0	0	先天性風疹症候群	0	0	0	1	0	0					
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	梅毒	1	479	0	45	5	839					
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	破傷風	2	69	1	17	5	123					
	タニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0					
	炭疽	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	67	0	6	0	80					
	つつが虫病	0	107	0	2	0	442	風しん	2	126	0	4	2	309					
	デング熱	0	47	0	11	2	104	麻しん	5	594	1	47	39	11,015					
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	新型インフルエンザ(H1N1) <sup>(**)</sup>	138	10,927	0	1,104	-	-					
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	新型インフルエンザ等感染												

(\*)：平成20年5月12日から集計、(\*\*)：平成21年7月24日から集計、-：未集計

### 滋賀県における全数報告感染症の概要 (9月)

#### <結核>

性別：男性 6名、女性 5名  
 類型：患者 10名  
           無症状病原体保有者 1名  
 病型：肺結核 8名  
           その他の結核 3名

#### <腸管出血性大腸菌感染症>

性別：男性 3名、女性 3名  
 年齢：1歳、6歳 2名、21歳、32歳、34歳  
 血清型・毒素型：  
           O157・VT1&VT2 5名  
           O1・VT1 1名

#### <レジオネラ症>

男性 55歳、69歳  
 推定感染経路は水系感染および不明で、推定感染地域は日本国内です。

#### <急性脳炎>

男性 7歳、女性 8歳  
 推定感染経路は地域での流行および不明で、推定感染地域は日本国内です。

#### <破傷風>

男性 68歳  
 推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

#### <麻しん>

女性 30歳  
 推定感染経路は飛沫・飛沫核感染で、推定感染地域は日本国内です。ワクチン接種歴は2回とも不明です。

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

### 9月の概要

#### <インフルエンザ>

第36～39週(8/31～9/27)の定点当たり患者数は、毎週、前週の定点当たり患者数を上回っていました。第39週(9/21～9/27)の県全体の定点当たり患者数は8.67と多くなっていました。特に、第38週(9/14～9/20)には大津市で、第39週には大津市および高島で注意報発生基準値(定点当たり患者数 10.00)を超えていました。

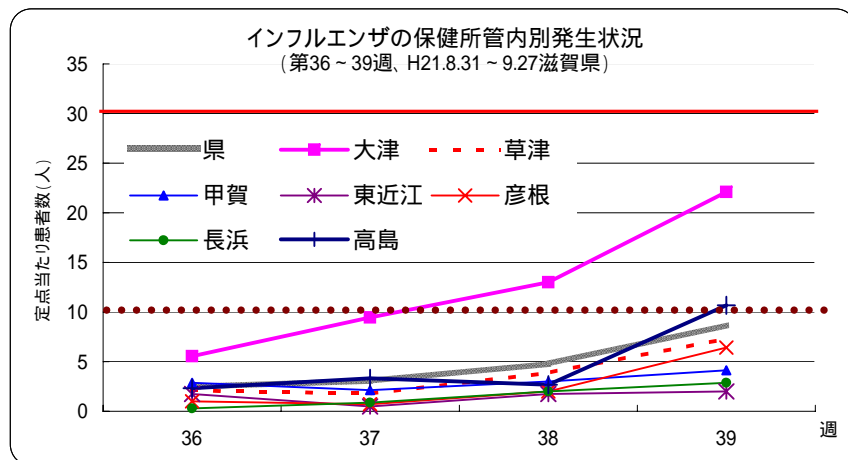
#### <小児科定点疾患>

先月より微増を示した疾患はRSウイルス感染症および感染性胃腸炎で、他の疾患については全て減少していました(疾患の発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。減少した疾患のうち、特に手足口病およびヘルパンギーナは先月の約1/4に減少していました。減少はしているものの、手足口病については第36週(8/31～9/6)に高島で警報終息基準値(定点当たり患者数 2.00)を超えていました。また、ヘルパンギーナについては、高島で第36～37週の間、先月に引き続き連続して警報終息基準値(定点当たり患者数 2.00)を超えていました。

#### <眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である急性出血性結膜炎および流行性角結膜炎は先月より微増となり、ともに草津からの報告でした。また、基幹定点疾患では先月より減少していました。特に、先月多かったマイコプラズマ肺炎は半減していました。クラミジア肺炎の報告はありませんでした。

### インフルエンザの週別保健所管内別発生状況(平成21年第36～39週、滋賀県)



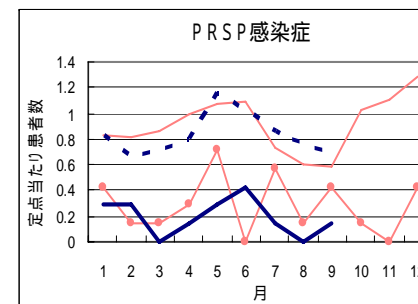
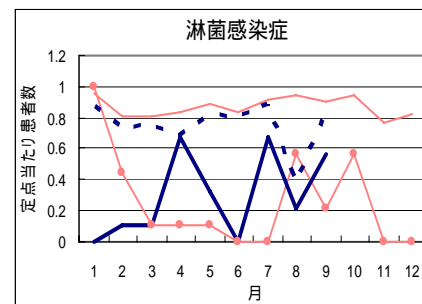
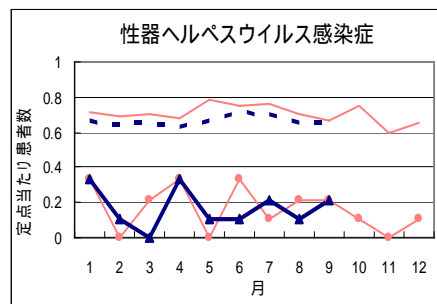
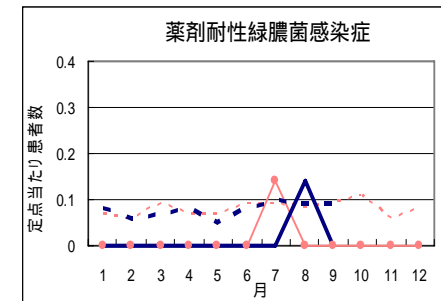
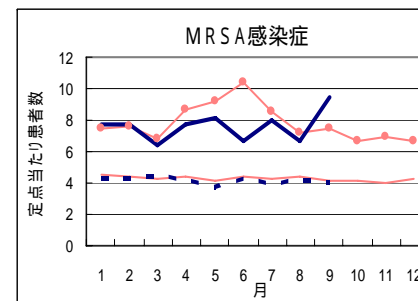
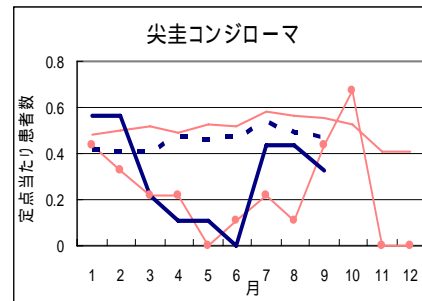
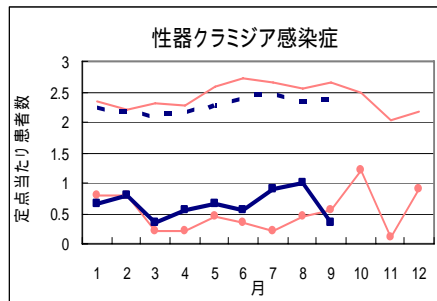
#### <各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

### 3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成 21年 9月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	7	3	5	6	5	8	9	3				52
	定点当たり	0.67	0.78	0.33	0.56	0.67	0.56	0.89	1.00	0.33				5.79
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	1	0	3	1	1	2	1	2				14
	定点当たり	0.33	0.11	0	0.33	0.11	0.11	0.22	0.11	0.22				1.54
尖圭コンジローマ	罹患数	5	5	2	1	1	0	4	4	3				25
	定点当たり	0.56	0.56	0.22	0.11	0.11	0	0.44	0.44	0.33				2.77
淋菌感染症	罹患数	0	1	1	6	3	0	6	2	5				24
	定点当たり	0	0.11	0.11	0.67	0.33	0	0.67	0.22	0.56				2.67
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	54	54	45	54	57	47	56	47	66				480
	定点当たり	7.71	7.71	6.43	7.71	8.14	6.71	8.00	6.71	9.43				68.55
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	2	2	0	1	2	3	1	0	1				12
	定点当たり	0.29	0.29	0	0.14	0.29	0.43	0.14	0	0.14				1.72
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	0	1	0				1
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0	0.14	0				0.14

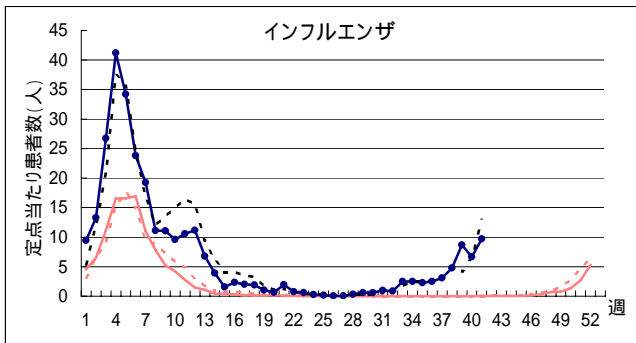


H20 { 滋賀 (赤線) 全国 (青線)  
 H21 { 滋賀 (赤線) 全国 (青線)  
 MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌  
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

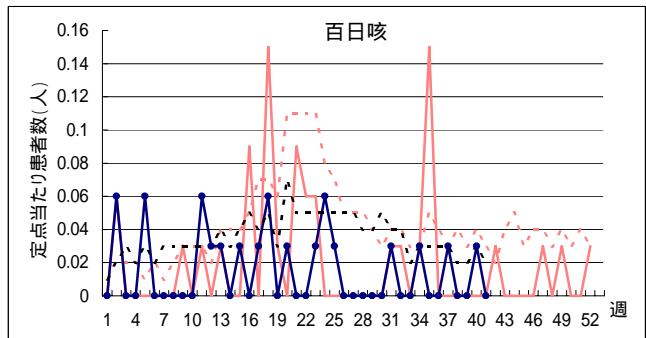
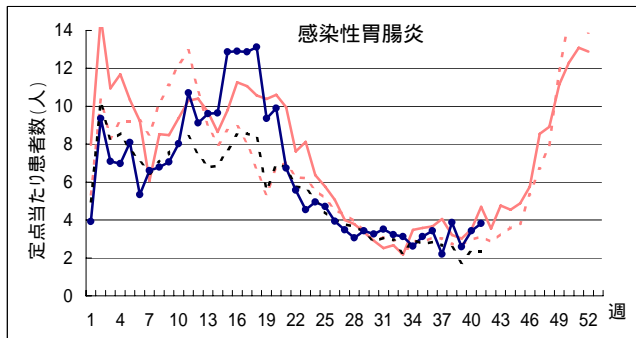
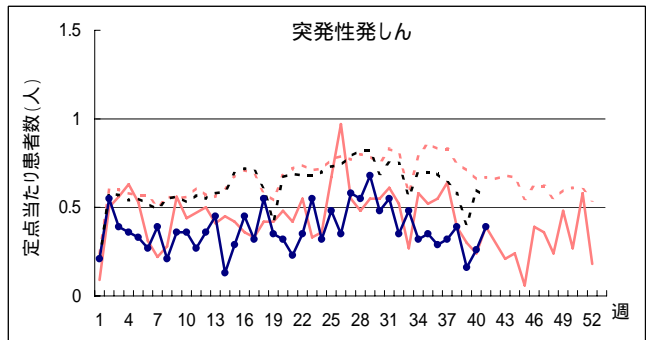
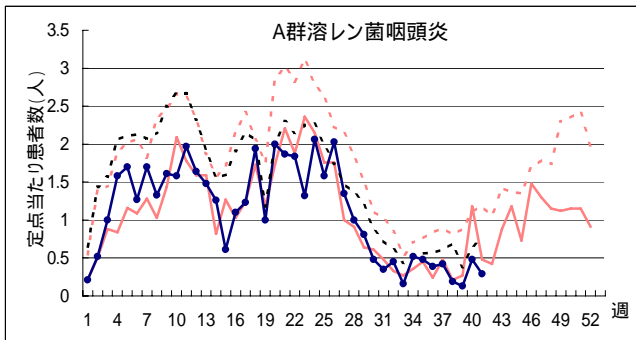
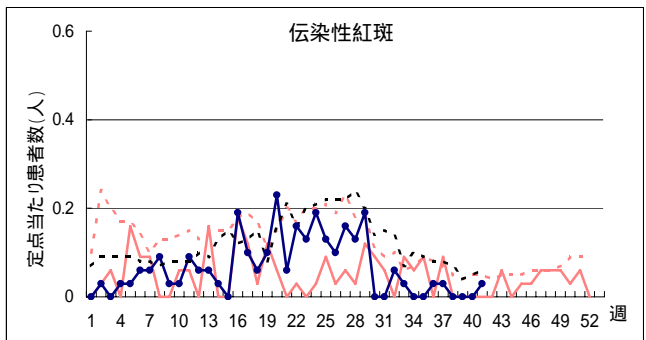
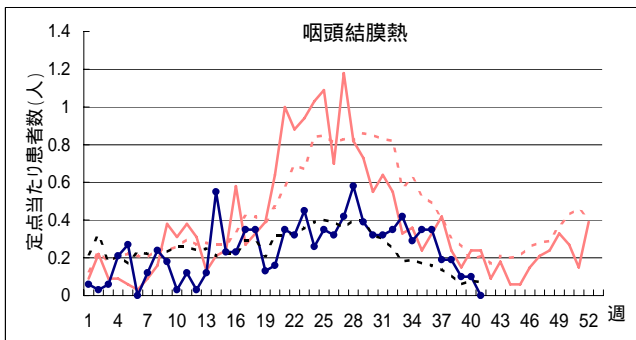
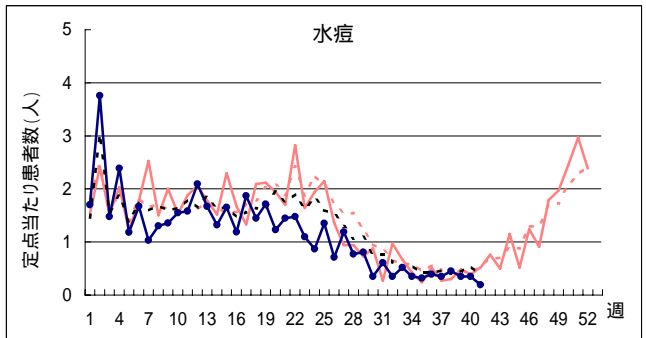
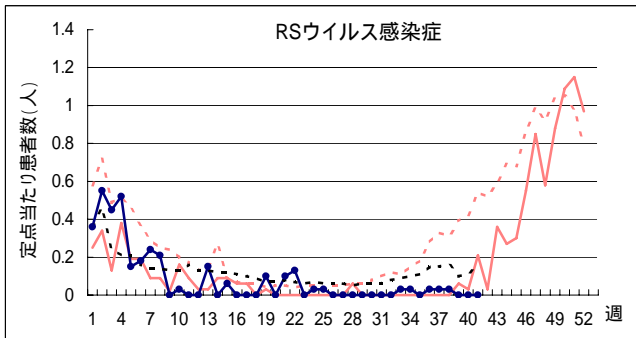
性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、性器クラミジア感染症および尖圭コンジローマは減少していますが、他の疾患については増加しています。特に、淋菌感染症では先週よりかなり多くなっています。薬剤耐性緑膿菌感染症は報告されていません。



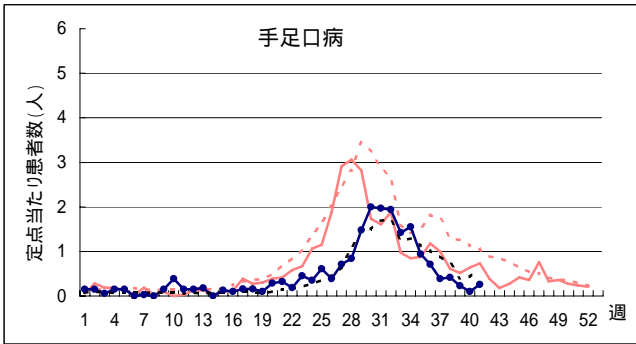
# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第1~39週、H20.12.29~H21.9.27)



H20 { 滋賀 (solid red line)  
       全国 (dotted red line)  
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
       全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第1～39週、H20.12.29～H21.9.27)



H20  
 { 滋賀 ————  
   全国 .....  
 H21  
 { 滋賀 ————  
   全国 .....  
 週

